

非核の政府を求める石川の会 会報

非核・いしかわ

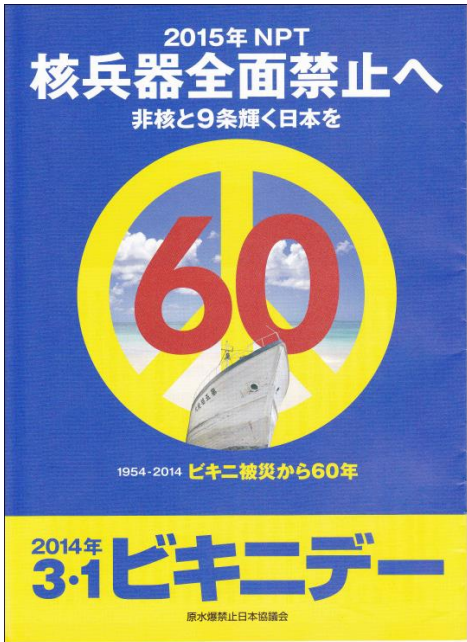
被災六〇年 二〇一四年三・一ビキニデー

二〇一五年NPTへ向けて

いま行動を起す時

二月二七日から三月一日まで、静岡県焼津市を中心に「二〇一四年三・一ビキニデー」の集会在開かれます。

六〇年前の一九五四年三月一日、アメリカがマールシャル諸島ビキニ環礁でおこなった水爆実験は、広島に落とされた原爆の一〇〇〇倍の威力がありました。焼津港を母港とするマグロ漁船「第五福竜丸」



(今年の3・1ビキニデーパンフレット表紙)

事務局

〒920-0848

金沢市京町 28-8

石川民医連労働組合気付

Tel 076-251-0014

郵便振替口座

00760-0-15689

非核 5 項目

- ① 全人類共通の緊急課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める。
- ② 国是とされる非核三原則を厳守する。
- ③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する。
- ④ 国家補償による被爆者援護法を制定する。
- ⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する。

をはじめ多数の船が被災。広島、長崎に続く三度の核兵器の被害に、原水爆禁止を求める世論と運動が日本全国から世界に広がりました。

次回NPT再検討会議まであと一年

核兵器全面禁止・廃絶はいまや世界の大きな流れになっていきます。被爆七〇年、二〇一五年のNPT（核不拡散条約）再検討会議まで約一年となり、ビキニ被災から六〇年の節目に開催する「二〇一四年三・一ビキニデー」は、核兵器の廃絶をめざす日本と世界の世論を大きく盛り上げ、国際政治を核兵器廃絶へと動かしていくための一大決起の場となります。

核兵器全面禁止の国際共同行動の提唱、新たなラウンドの原爆展と「核兵器全面禁止のアピール」署名、多彩で創意にあふれた二〇一四年原水爆禁止国民平和大行進―すべての運動がここから始まりま

- ◎ 全国の運動を持ち寄りましょう。あなたもぜひ参加してください。
- ◎ 開催要項は案内チラシを参照ください。
- ◎ 石川県からは六人が参加します。次号で参加者印象記を掲載します。

花鳥風月

一五年戦争が終戦を迎えた一九四五年八月一五日のこと▼「…後の美大の先生もその中に入っていたのですが、新聞記者や工芸作家や評論家の方々が戦争中から集まって、戦争がすんだら金沢へひとつ美術学校を作ろうという話をやっていた連中が終戦になった八月一五日に、そら戦争が終わったと、まず現代展をやるう、それから美術館をつくり、そして美術学校つくろうという三つの案を作りまして、それを当時の市長にお話ししたわけなんです…」
「市長さんは武谷甚太郎さんといった方で『よかるう』と言うわけで、すぐみんなそういう連中が寄って活動を始めました。象嵌作家の高橋介州という方が舞鶴へ急行して、海軍から金沢の海軍人事部の居た洋館があったものをもらってきたのです」(SPACE MODURSTAR No.57 『金沢の街と建築』対談・五井孝夫+平井聖二 四四頁)と述べます▼一九四六年創立の金沢美大『大学憲章』にも平和憲法の意義が読み取れます。いま、わが国の教育文化や社会保障の基本構造を破壊し、農林漁業や国内産業を破壊へと導くアベノミクス。秘密保護法に見られるファシヨ的な暴走を阻止する終戦前生まれとしての責務に思い至るのです。(一)

五十嵐代表を囲んで新年望年会

一月一七日、五十嵐代表世話人をはじめ八人が参集した。常任世話人会の議題を討議のあと、活動のねぎらいと更なる健闘を誓い乾杯、美味しいメニューと話に舌鼓。フランクな新年望年会に入った。

まず、一月一九日投票の沖縄県名護市長選挙結果の話題から、マスコミ報道と安倍政権の沖縄に対する基地政策に厳しい批判の声が上がる。

五十嵐代表から年末に行かれた沖縄県辺野古と高江のことで石川県出身の清水暁さんが地元の人たちやヘリパッド反対の仲間たちから厚い信頼を得て活動されていることなどが紹介された。

会報の編集と制作については、よく準備された編集委員会は、楽しく短時間で終わること、これは松井編集長と神田事務局長の段取りの良さと、編集委員の紙面づくりの分担に負うところが多いと自画自讃。

会報「非核いしかわ」が家庭でも読まれる内容に努めており、また非核平和の運動を県下の自治体と共同ですすめいく立場から、全自治体（総務部と議会事務局）に会報をお送りしている。友好諸団体の講演会の要旨掲載や文芸欄など多彩な内容が評価され、会員によるリレートークも面白いと話題になっている。

非核の会のホームページは全国の会、東京の会、京都の会、大阪の会等が開設しているが、石川の会の開設により全国と連携した情報交換と運動の前進に大いに役立つことになろう。担当者任せになら

ないようにしようという自戒の言葉も出ていた。四月より準備作業に入り六月頃より本格始動に。

今年六月の総会と記念講演が話題になった。記念講演は「沖縄で活動されている清水暁さんをお招きして沖縄の実態を聞くことが出来ないか、他の平和団体との共催で広く呼び掛けて実現したいね」となり、五十嵐代表が二月に沖縄へ行かれた時に、ご本人確認をしていたことになった。

つきない話に時間が経ち、ノミニュケーションも大切なことと納得し、散会となりました。

二〇一五年国連に要請団を

石川県実行委員会（仮称）が発足

昨年九月より石川県からNPT再検討会議に要請団を送るための準備を重ねてきました。事務局を開催し、二〇一五年国連に要請団を送る石川県実行委員会（仮称）が発足し、以下のとおり確認しました。

〈目的〉① 二〇一五年NPT再検討会議に二〇人以上の要請団を送る

② 「核兵器全面禁止のアピール」国際署名を進める

③ 個人・団体の共同行動を拡げる。呼びかけ人（運動の賛同者）を多数募り、運動を拡げる

〈組織〉代表委員は参加団体代表者と著名人に依頼する

〈事務局〉神田順一、児玉一八、内藤晴一郎、藤田克彦、村中香子、各団体から補充する

〈財政〉団体分担金一口一万円
個人募金、物品販売等で賄う

〈署名目標〉五万筆（一月現在一万六四四四筆）
節目毎の目標を立てて取り組む

① 二〇一四年三月結成総会 二万筆

② 二〇一四年六月平和行進 三万筆

③ 二〇一四年八月原水禁大会 四万筆

④ 二〇一五年NPT再検討会議 五万筆

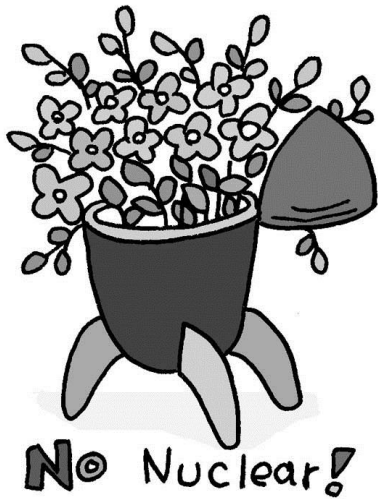
〈要請派遣費用と募金〉一人四〇万円が必要、各団体で半額の二〇万円を目標に取り組む

〈学習会の開催〉要請行動の意義について学ぶ



味覚と話の泉に満足に参加者

(1月17日、金沢市木倉町・酒菜家にて)



二〇一五年国連に要請団を送る石川の会 結成総会及び記念講演の「案内」

記

日時：二〇一四年三月二十九日(土)午後一時半～四時
会場：石川県教育会館二階会議室

(第一部) 記念講演

演題 NPT再検討会議に向けた運動の構築

講師 安井正和氏(日本原水協事務局長)

(第二部) 二〇一五年国連に要請団を送る石川の会・結成総会

*多数の参加をお願いします。

歴史に学び憲法を活かし、東アジアと世界に平和を

「建国記念日」反対!

平和と民主主義を考える集い

『二月一日』講演にあたって考えたこと

土田光孝(講師)

「紀元の日、怒りの心(言葉)湧き出でよ」

二月一日の朝、私の口から出た一句でした。「人生の年月は七〇年程のものです。健やかな人が八〇年を数えても、得るところは労苦と災いにすぎません。瞬く間に時は過ぎ、私たちは飛び去ります。」(旧約聖書詩編九〇)

八十路に入ると労苦と災いから無関係になろうとして、人格円満ニコニコ顔になろうとする自分を感ずます。しかし最近の私、怒りをさげようと思いつつも駄目な自分を感じています。百田尚樹氏(NHK経営委員)の『永遠の0』がよく売れて映画も好評という事実が怒りが込み上げてくるのです。

「我々の中には天皇陛下のために命を捧げたいと思っている者など一人もいなかった。戦後文化人やインテリの多くが、戦時中の日本人の多くが天皇が神様だと信じていたと書いた。馬鹿げた論だ。そんな人間は誰もいない。」(『永遠の0』より)

五六年(戦後一年)生まれの者が何を言っている! この世代の人たちは、天皇の存在と最も遠い所で自己形成をし、天皇に関わる思い出や記憶は驚くほど少ない。それだけに戦時中の教育をうんと勉強してほしい! 学ぶことが足りないから田母神

候補を声高に応援し、「南京大虐殺はなかった」「東京裁判は米軍が大虐殺をごまかすためだった」とか、

日本軍の真珠湾攻撃を合理化するなど、日本の侵略戦争を正当化しています。与野党に波紋が広がるだけでなく、在日米大使館も取材に対し「非常識だ」と批判しました(米政府の公式統一見解として)。

今でもそらで覚えている唱歌

二月一日の紀元節の日、次のような唱歌を歌わされてきました。みんなそらで覚えていきます。七〇年経っても、スラスラと口から出てきます。

「雲にそびゆる高千穂の、高嶺おろしに草も木も、なびきふしけん大御代を、仰ぐ今日こそたのしけれ」
「天津ひつぎの高みくら…、もとい定めしそのかみを仰ぐ今日こそたのしけれ」

「高千穂」とは天照大神の血を引く天孫ニニギノ尊が天降った日向の山。「大御代」とはニニギノ尊の子孫である万世一系の天皇。つまり皇祖皇宗を継ぐ天皇による治世を指していると教えられました。「天津ひつぎ」とは天照大神の『神勅』によって皇位を継承する者。「高みくら」は継承されるべき天皇の玉座を指します。「もとい定めしそのかみ」は最初の天皇として神武天皇が統治を始めた最初の時をいいます。この神話的存在である神武天皇が即位したとされる場に橿原神宮が創建されたのは一八九〇年のことです。

紀元節という国民儀礼、学校では宮城遙拝、御真影(天皇皇后の正装写真)への最敬礼、校長による教育勅語奉読(一同頭を下げて聞く)、君が代・唱歌「雲にそびゆる」、そして「海ゆかば」を歌いま

す。「海行かば」とは「海行かば水づく屍、山行かば草むす屍、大君（オオキミ）の辺（へ）にこそ死なめ、かえりもはせじ」。第二の国歌ともいわれ、よく歌わされました。天皇のために死にましよう、という歌です。四二年の政府の通達により学校だけでなく、国民の各種会合で歌いました。



軍国主義を煽った文部省唱歌や軍歌をたくさん紹介して講演された土田光孝さん

私たちの少国民世代は「君が代」「海行かば」文部省唱歌と軍歌によって鍛えあげられました。究極の軍歌は「……散兵戦と花と散れ」です。どれだけ歌で教育されたか！ 歌の影響はすごいと思います。紀元節の歌の中に「天津ひつぎ」という言葉がありました。天照大神の神勅によって皇位を継承する者、天皇の意ですが、この『神勅』によって大日本帝国憲法・教育勅語が生まれ、伊勢神宮・宮中三殿などが存在しています。これらが天皇統治こそ我が

国の根幹であるという国家神道の中心的聖所でした。

神社・天皇が前面に派手に出だすと危ない！

大日本帝国憲法（一八八九年二月一日発布）の発布形式に注目することが大切です。天照大神や歴代天皇（皇祖皇宗）と神々を祀る宮中三殿で天皇自らによる奉告祭が行われています。全国の神社でも同様の奉告祭が行われました。国民に向けては勅語が出されましたが、その前に「皇祖皇宗の神霊」に向けて「告文」が出されているのです。その「告文」では天皇自らが日本の国土を永遠に治めるべき神霊な任務を負った存在である（神勅により）ことを宣言しています。その『神勅』とは、天照大神がニギノ尊に告げたものです。

「…瑞穂の国は、これわが子孫（ウミノコ）の王（キミ）たるべき国なり。いまし皇孫（スメミマ）、いでまして治（シラ）せ…天壤（アメツチ）ときわまり無けむ（天地とともに永遠にの意）」

「教育勅語」は「わが皇祖皇宗、国をはじめると宏遠に、徳をたつること深厚なり」で始まっています。皇祖皇宗の神道思想です。

神社・天皇そして戦争を知っている八十路を生きる私は、怒りの心を忘れてはいけない！ 神社・天皇が前面に派手に出だすと危ない！ という思いで、今を生きています。

（元日本キリスト教団中部教区常置委員、元石川県私立学校教職員組合執行委員長）

非核・平和の海外情勢 核兵器をめぐる三つの論文

一月一七日非核の政府を求める会常任世話人が開催されました。藤田俊彦常任世話人から核兵器をめぐる三つの論文が報告されました。

① 「今日の軍備管理」の昨年一二月に掲載された「核軍備撤廃に関する様々な見解が、どのようにNPTを脅かしているか」というアレクサンダー・クメント氏の長文の論文である。

彼は、NPT会議の中で、核保有国と非核保有国の対立が高まっており、核保有国が第六条の規定に従って、本腰を入れて核兵器廃絶のために動かないと、現在、唯一の核兵器条約であるNPT条約が破綻するであろうと述べている。つまり、核兵器国と非核兵器国のNPT条約の理解に溝があり、核兵器国は、核兵器の拡散の防止が主な内容であり、非核兵器国は、核兵器の廃絶が目的の条約であると理解している。ただ、核兵器国の核兵器が完全に撤廃されるまでは、自国の安全のために核兵器が必要であるという論理は、核兵器の拡散に悪い影響を与えている。どの国においても、一定の技術があれば核兵器の製造は容易であり「自国の安全のために」という理論で、核兵器を持つことになり、核兵器国は、そのことを十分に理解するべきであると述べている。

② 昨年二月二〇日付の米のハンフイトン・ポスト紙「アメリカは今新しい核兵器を調達する余裕などがあるのか」というジョセフ・シリンス

オーニ氏の論文である。

アメリカは、今後一〇年間に三五五〇億ドルの予算を、直接核兵器のために支出するという事であるが、今のアメリカの国家には、そんな余裕はなく、ソ連とたたかうために製造された古い兵器のためにお金を使うのではなく、もっとテロ対策に予算を使うべきであると述べている。

③ 昨年十一月の「今日の軍備管理」のPSR (IPPNWのアメリカ支部) のアイラ・ヘルファンド氏の「核戦争の人道上の影響」である。

PSRは、これまで印・パ戦争で核兵器が、広島型核爆弾が一〇〇個使用されるといふ条件下での影響について研究し、一〇年間で一〇億人が死亡するであろうと報告してきたが、それが、新しい検討によって二〇億人になったと述べている。

(原和人全国の会常任世話人の報告から)

非核・平和のつなび

◎県民のための新しい県政を

石川県知事選挙(二月二十七日告示、三月十六投票)が迫ってきました。県都金沢は、中心市街地の空洞化は言うに及ばず、都市圏には、市民生活と地域経済を取り巻く厳しい諸課題が山積しています。また、能登、加賀・白山地域でも「失われた二十年」の疲弊に加え、能登半島震災の震源から近い志賀原発、消費税増税、TPP協定参加など新自由主義の

圧政も加わって、個性ある地域の発展が阻害されてきた県民周知の現実があります。

いまこそ、生活者・生産者の立場から県政を根本的に変革して、県民のための新しい地方自治を育てゆく時代であると思います。(二)

◎「谷善と呼ばれた人」

―労働運動家・文学者・政治家として―

二月八日京都市で発刊記念集会有り、谷口善太郎を顕彰する石川の会から三人が出席しました。

この本の編集にあたり二年前、京都のみなさんと生誕地能美市和気町や石川近代文学館を尋ね現地調査と資料収集に同行しました。

この本は谷善の功績を讃える素晴らしい内容だと思います。戦前、生活苦ゆえに幼くして陶工として働きながら学び、労働運動を通して社会を見、文学者としても名作を数々発表しました。山本宣治氏を国会へ送り出し、蛭川虎三京都府知事の誕生の生みの親でもありました。政治家としての谷善の没後四〇年に出版されたこの本を私は推薦いたします。この本の中で紹介されている「狐が呉れた赤ん坊」は坂妻が主演し津川雅彦が子役で初出演した映画です。今も本屋さんでは名作としてDVDコーナーで扱っています。(北口吉治)

非核石川の会 リレーエッセイ

NHKの異常

下島章弘

マスメディアが特定秘密保護法について真剣に

取り上げたのは、昨年十一月、衆議院で審議が始まってからで、強行採決という段階で各新聞社や民放局も、報道の自由、国民の知る権利に問題があると盛んに取り上げるようになった。民放キャスター集団も抗議声明を出した。

だが、NHKだけは全く解説も特集も組まなかった。あらためて、二〇〇一年の「従軍慰安婦特集」の改変問題以来「権力に屈したまま」だという感を強くした。

この改変に関わったのが、安倍晋三官房副長官(当時)である。その安倍晋三が送り込んだNHK経営委員とそれらによって選ばれたNHK会長の発言が国内外から非難を浴びている。

梶井勝人会長の「政府が右ということをして左と言うわけにはいかない」については、安倍首相に付き従うというもので、公共放送の長たる者の発言として断じて許しがたいもので、抗議と会長辞任要請をハガキ・電報を送った。

経営委員の百田尚樹氏の「南京大虐殺はなかった」は歴史認識を歪曲するもの。長谷川三千子氏の「テロ行為礼賛」は「公共の福祉について公正な判断をすることができる者」と定める放送法にそぐわない経営委員であることは明白である。

今回の安倍政権の露骨な人事介入に寒気を感じ、気のせいかな最近の書店で、百田氏の書籍が目につく。「従軍慰安婦特集」の改変以後、約一〇年間「受信料不払」で抗議の意を表してきたが、そのような行動でNHKの体質が変わると思わない。

民主主義を守る運動を粘り強く、幅広く、盛り上げていくことしか解決の道がないように思う。

暮らしの安全と安心は住まいから

白崎正子

一月一七日は阪神・淡路大震災から一九年目で、震災後住宅の契約期限が迫り、高齢者が転居を迫られているという報道がありました。福島原発事故で自宅を追われ、仮設住宅で住み続けなければならぬ高齢者、日本国中に避難を余儀なくされている人への思いと重なります。

「住まいは人権」であることを学んだのは一八歳昭和三八年の豪雪の年でした。当時、医療系学生が金沢市平和町の引揚者住宅「あかつき寮」で南京虫・ゴキブリ駆除、尿検査・血圧測定などを行い、住民の健康相談などを先輩医師とともにしていました。

太平洋戦争中、金沢には陸軍師団が置かれ、現「平和町」には木造の兵舎が幾重にも立ち並んでいたのです。終戦になり、着の身・着のままの引揚者を中心に居住施設として転用されました。兵舎をベニヤ板で仕切り居室に、馬小屋を共同の台所・トイレに改装した共同住宅でした。昭和二二年に平和町と改名され、県の住宅事務所開設、福祉施設として民間の保育所、散髪所、診療所、市場がつくられました。その後、市営・県営住宅が多く建設され、現在の平和町団地となりました。私も四五年前から六年間、住んでいました。

平和町には平和の祈りが込められ、受け継がれています。住民は再び、戦争は起こしてはならないという思いと戦前の苦労経験からお互いの助け合いの気持ちを感じられます。「暮らしをまもり、安心

して住み続ける」住民運動が進められ、地元の大桑孝雄さん、原俊道さん、川上賢治さんを県会議員に送り出したのです。

二五年前から川上県議（当時）、引きよみ市議とともに県営住宅の家賃減免制度のあることを知らせ、集団申請を続けています。また、住み慣れたところで友人とともに暮らしたいという願いをうけて、一三年前から毎月、地域サロンを開催し、百回を超えました。「引き揚げてから住んでいるのは、私一人になったわ」と口癖にしていたMさんも最近、亡くなりました。

この町で安心して住み続けるためには高齢化、孤独化が進んでいる中で居住環境を整備することはもちろん、戦争のない平和な暮らしと、貧困・抑圧・差別・環境破壊のない社会を目指すことが必要です。安倍首相は国民の大多数の反対を押し切って、世界のどこにでも出かけて戦争すること、原発再稼働を目指しています。「儲け優先から、いのち優先へ」への転換を願ってやみません。

原発発の先頭に立っている大江健三郎さんは「こんまま、へたり込んでしまうわけにはいかない」と言われていますが、一人ひとりの決意と行動が求められていると理解しています。



詩人会議かなざわ「独標」より

今

姉を手にかけてた罪は重い
しかし

山口修治

制度が不十分なことの罪はもつと重い
よつてこの殺人未遂事件は執行猶予とします

昨年末に報じられたニュース

憲法二十五条が出来て六十七年

介護保険料を支払うようになって十三年
まざれもない 今

こんな今を尻目に

要支援の人を介護保険から追い出し

要介護1と2の人を特養ホームから追い出す
そんな『改正』案が

着々と準備されている 今

「もう在宅介護も限界です！」

悲痛な叫びがもれる介護懇談会での声を背に
特養ホーム待機者家族会のみなさんと

市役所へ 県庁へ 国会へ
行動する 今

日常

介護という名の日々は三年になるだろうか
高久晴美

飽き飽きしているわたし
人で無しなんだろうな

その感情にフタをして
憎しみに似た愛情をナイフのように隠し持つ

出口の無い洞窟

親達のつきつける老いが痛い
己も近づく老いが怖い

三十三年前

逃げるように親元を離れ嫁いだ
いつも いつも酸欠だった

息がしたかった 思う存分
親になる迄
母を信じ切れなかった

ナイフを隠し持つ私
誰か気付いてよ

明日も明後日も
同じ会話を繰り返して
サイフの紐だけ堅くなる

その長い時間を
耐える事が
最後の仕事

◆映画上映のご案内◆

二〇一二年九月二十九日、普天間米軍基地は完全に封鎖された。この前代未聞の出来事を「日本人」は知らない。普天間・辺野古・高江の真実を描く。

映画「標的の村」(琉球朝日放送制作)

県内九会場で上映

いずれかの会場では是非鑑賞を!

開催地	日程	上映時間	会場
金沢地区	3月22日(土)	14:00~	石川県教育会館3階ホール
加賀地区	3月23日(日)	13:00~	アビオシティ・ホール
志賀地区	3月28日(金)	19:00~	志賀町文化会館
七尾地区	3月29日(土)	14:00~	七尾鹿島労働福祉会館ホール
珠洲地区	3月30日(日)	10:00~	飯田わくわく広場
白山地区	3月30日(日)	19:00~	白山市松任図書館学習センター
津幡地区	4月5日(土)	14:00~	津幡町文化会館シグナス
野々市地区	4月6日(日)	19:30~	野々市市三納 常讃寺
小松地区	6月28日(土)	10:00~	小松市民センター

<注>3月22日、23日は高江ヘリパット住みの会代表・伊佐真次さんの講演もあります。

平和川柳研究会より

黒檀の机奇譚

岩原茂明

黒光り裏切りすすめ偉くなり
黒檀は俺が工面した金で買い
今はもう友と思えぬ黒檀の主
黒檀は儲かることだけ始末
わが背中今やつと見る子ども達
ブラックがつぶした春を聞く夜
スチールの机で働いた友を押し
黒檀が透けて見える秘密法

《編集室より》

◎二・一一集会の講師の土田光孝さんは、年間の各種集会のなかでもこれだけは欠席したことがないという。それだけキリスト者としての生き方を踏み躪られた根本問題をしっかりと見つめておられる。本質を掴んで離さないその生き方は、いつまでもお若い。(ま)

◇ ◇
◎白崎正子さんのエッセイに書かれている金沢市平和町にあった引揚者住宅「あかつき寮」には私も学生時代に数年間、児童文化部あかつき班(子ども会班)のメンバーとして訪問したことがあります。当時の平和町診療所(現・健生クリニック)の隣にあった集会所を利用して地域の子ども会活動のために通っていました。「あかつき寮」の子どもたちをめぐる地域や教育環境を学ぶことにより、貧困や差別など社会の矛盾を知った私の原点でもあります。初心を忘れずに活動を続けていきたいものです。(か)

故清水正明医師の広島被爆絵画シリーズ

⑥ 「原爆の凶」 死児を抱く母

一九四五年八月六日 午後四時
その日の朝八時十五分 突然家の外に
ほうり出された若い母親は、傍にころがっていた
乳のみ児をしっかりとだいて 西へ西へとある
き続けた。

勿論 西も東もわからぬ状態で ただ火に追わ
れ、恐ろしいものから遠ざかろうとする本能で、
トボトボとあるいていた。腕の中には 乳呑児を
しっかりと抱いていたが、その児はすでに冷くな
っているのに、そのことを知らぬようであった。
私の心は憤懣でたぎり立った。

(広島市高須付近)



(輪島市教育委員会所有)

絵手紙コーナー



本当の春よ来い

金沢医療生協絵手紙班 矢敷 節

《非核平和・行事予定》

- ・二月三日(日)一四時：石川県原水協総会・学習会館
- ・二月二七日(木)三月一日(土)：被災六〇年三・一ピキ
ニデー開催地焼津市・静岡市
- ・二月二六日(水)一八時半：NPT事務局会・勤医協会
館

- ・二月二七日(木)三月一六日(日)：石川県知事選挙
- ・三月六日(木)一二時：核廃絶署名Mザ前
- ・三月七日(金)一八時半：国際女性デー石川県集会・記
念講演「女性は戦争参加の道を許さず、憲法九条を
守ります」講師蕪城哲平弁護士・石川県女性センタ
ー・主催実行委員会

- ・三月九日(日)一三時半：全国No-Nuke Day・原発再稼
働反対／志賀原発廃炉を求める集会とデモ行進(所
要一時間)・金沢市役所前広場・主催三・九石川県
民集会実行委員会

- ・三月二一日(金)：二〇一四年ピースウォーク・石川
県中央公園・主催ピースウォーク実行委員会
- ・三月二九日(土)一三時半：安井正和と日本原水協事務局
長を迎えて学習講演会・石川県教育会館二階・二〇
一五年国連に要請団を送る石川の会
- ・四月六日(日)一七時：核兵器廃絶署名・金沢駅
- ・四月七日(月)九日(水)：平和の旅ミニ企画「沖縄基地
視察・激励ツアー」・主催石川県平和委員会
- ・四月九日(木)一二時：核兵器廃絶署名・武蔵エムザ前
- ・五月三日(土)：輝け！九条石川県民集会・記念講演
「演題未定」斎藤貴男ジャーナリスト・本多の森ホ
ール・主催九条の会石川ネット
- ・五月六日(火)一七時：核兵器廃絶署名・金沢駅
- ・五月九日(金)一二時：核兵器廃絶署名・武蔵エムザ前
- ・六月一日(日)一三時半：非核の政府を求める石川の会
総会と記念講演・場所未定
- ・六月六日(金)一二時：核兵器廃絶署名・武蔵エムザ前
- ・六月八日(日)：石川県母親大会
- ・六月九日(月)二四日(火)：二〇一四年核兵器廃絶国民
大行進・石川県内行進

- ・六月一五日(日)一三時半：「第五回核兵器廃絶国際デ
ー」映画「放射線を浴びたX年後」上映と第五
福竜丸展示館学芸員・市田真理さん講演会・石川県
女性センター・主催核戦争を防止する石川医師の会